

常任委員会の動き

第1常任委員会

《平成24年1月23日開催》報告及び審議事項

【総務部】

防災計画等の見直し、全国瞬時警報システム等留萌市電算システム整備のあり方について
平成23年度留萌市職員採用試験実施結果について
留萌市小額契約希望者の登録申請について
平成23年度市税調定収入状況、平成24年度税制改正等

【政策経営室】

留萌安心情報メールマガジン配信状況について
留萌市所蔵記録写真デジタル化事業（中間報告）
日中国交正常化40周年記念日中交流切り絵展

【産業建設部】

平成23年度除雪対策の中間報告について
留萌市耐震改修促進計画について
JA南るもい米低温倉庫建設事業の概要について

【教育委員会】

留萌小学校改築に関する状況について
学校評議員制度、給食食材異物混入事案について
《平成24年2月21日開催》報告及び審議事項

【総務部】

留萌市事務文書条例の全部を改正する条例制定について
留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例制定について

【政策経営室】

第5次留萌市総合計画（後期計画）について
留萌市債権管理条例の一部改正について

【産業建設部】

留萌市森林整備計画の策定
留萌市観光振興ビジョンの策定
専決処分報告について（損害賠償）4件
留萌市観光施設等の指定管理者の指定について

【教育委員会】

留萌小学校改築基本構想策定のための検討会議開催
市長とのフリートーク（沖見小）について
平成24年度当初予算関係
留萌市教育委員会関係条例の改正
教育所管施設の指定管理者の指定

【各所管共通】

平成23年度補正予算（案）平成24年度主要事業
《平成24年3月19日開催》報告及び審議事項
留萌市立留萌小学校改築基本構想（素案）について

第2常任委員会

《平成24年1月16日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

第9次留萌市交通安全計画（案）について
小型電子・電気機器回収事業試行の実施状況について
自由ヶ丘団地法面災害復旧工事の進捗状況について

【健康福祉部】

第4期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の検証
保健福祉アンケート調査の結果について
第5期介護保険料について

【市立病院】

北海道立衛生学院留萌学習センター委託契約に関する経過報告
《平成24年1月31日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

後期高齢者医療制度説明会の開催について
美サイクル館プラント及び電気計装設備等の復旧調査状況について
《平成24年2月9日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

美サイクル館プラント及び電気計装設備等の復旧調査状況について
新しいごみ分別（案）について

【健康福祉部】

知的障がい者の生活状況調査について
留萌市介護保険運営協議会開催状況について
第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）について
《平成24年2月23日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

第24年第1回国民健康保険運営協議会の開催結果
美サイクル館プラント及び電気計装設備等の復旧調査状況について
平成24年度第1回留萌市上下水道事業運営委員会の開催結果について
配水施設整備事業の執行状況について

【健康福祉部】

知的障がい者の生活状況調査結果について
留萌オリジナル予防・健診について

【市立病院】

留萌市立病院看護師等研究資金貸与条例の一部を改正する条例制定について
病院事業会計予算（案）の概要について
留萌市立病院改革プランの補正について
《平成24年3月2日開催》報告及び審議事項

【健康福祉部】

留萌市障がい福祉計画（素案）について

【市立病院】

北海道立衛生学院留萌学習センターの譲渡について
留萌市立病院救急患者搬送車両交通事故の報告
《平成24年3月15日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

第9次留萌市交通安全計画について
《平成24年3月28日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

小型電子・電気機器回収事業試行期間の延長について

もくじ

- P 10 平成24年度第1回定例会議決事項
- P 11 常任委員会の動き
- P 12～14 第5回定例会一般質問項目
- P 15～16 平成24年度新規事業
- P 17 議会活性化委員会からの報告ほか

議会です こんにちは

平成24年第1回定例会（3月6日から3月19日）で可決されました議案43件、可決されました意見書5件の内容を紹介します。

議案

- 第1号 平成23年度留萌市一般会計補正予算（第7号）
- 第2号 平成23年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 第3号 平成23年度留萌市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
- 第4号 平成23年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 第5号 平成23年度留萌市港湾事業特別会計補正予算（第1号）
- 第6号 平成23年度留萌市下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 第7号 平成23年度留萌市水道事業会計補正予算（第3号）
- 第8号 平成23年度留萌市病院事業会計補正予算（第3号）
- 第9号 平成24年度留萌市一般会計予算
- 第10号 平成24年度留萌市国民健康保険事業特別会計予算
- 第11号 平成24年度留萌市後期高齢者医療事業特別会計予算
- 第12号 平成24年度留萌市介護保険事業特別会計予算
- 第13号 平成24年度留萌市港湾事業特別会計予算
- 第14号 平成24年度留萌市下水道事業特別会計予算
- 第15号 平成24年度留萌市水道事業会計予算
- 第16号 平成24年度留萌市病院事業会計予算
- 第17号 留萌市一般職員給与条例の一部を改正する条例制定について
- 第18号 市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第19号 留萌市税条例の一部を改正する条例制定について
- 第20号 留萌市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 第21号 留萌市立病院看護師等研究資金貸与条例の一部を改正する条例制定について
- 第22号 留萌市コミュニティセンターの指定管理者の指定について
- 第23号 留萌市農村交流センターの指定管理者の指定について
- 第24号 留萌市観光施設等の指定管理者の指定について
- 第25号 留萌市文化センター等の指定管理者の指定について
- 第26号 市立留萌図書館の指定管理者の指定について

- 第27号 留萌市事務分掌条例の全部を改正する条例制定について
- 第28号 留萌市職員定数条例の一部を改正する条例制定について
- 第29号 留萌市債権管理条例の一部を改正する条例制定について
- 第30号 留萌市営住宅管理条例及び留萌市営改良住宅管理条例の一部を改正する条例制定について
- 第31号 留萌市コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第32号 留萌市乳幼児等医療費の助成に関する条例並びに留萌市重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第33号 市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第34号 留萌市農村交流センター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第35号 留萌市都市公園条例の一部を改正する条例制定について
- 第36号 留萌市下水道条例の一部を改正する条例制定について
- 第37号 留萌市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について
- 第38号 留萌市文化センター設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第39号 留萌市体育施設設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第40号 留萌市過疎地域自立促進市町村計画の変更について
- 第41号 留萌市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第42号 留萌市議会政務調査費交付条例の一部を改正する条例制定について
- 第43号 留萌市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

意見書

- 第1号 国の出先機関改革に関する意見書
- 第2号 こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書
- 第3号 父子家庭支援策の拡充を求める意見書
- 第4号 基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書
- 第5号 若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書

平成24年第1回定例会 一般質問と答弁を ご紹介いたします

燕 昌克 議員
(萌政会)

問一 持続可能なエネルギー政策について

東日本大震災及び福島第一原発の事故により、原子力を含むエネルギー政策の見直しは必要である。持続可能なエネルギーである太陽光や風力発電について市長の考えを伺いたい。

答一 現在進めている「オロロンライン地域の自然エネルギーを活用した地域活性化に関する研究会」に参加しながら、風力発電を中心に、さまざまなエネルギーの導入の可能性について検討していくことが必要であると考えている。メガソーラーの可能性については、地理的な条件や日照時間などの課題もあり、現時点では難しい状況にある。しかしながら、メガソーラーの技術的な進歩など、この地域に

最適なシステムの導入に向けては、これからも研究・検討を重ねてまいりたい。

問二 ICTを活用した社会の実現について

今後の留萌市におけるICTを活用した社会の実現に向けた構想について市長の考えを伺いたい。



もい健康の駅

答一 障がい者、高齢者、若年層などへの案内表示や、市民の様々なニーズを聞き、コホートピア構想を進める留萌市として、実証実験や研究について、ICTを活用した取組を進める素地はあるものと考えている。

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

問一 新しい組織機構体制

五年ぶりとなる組織改革の体制と目指すものは何か。将来のワンストップ化を見据えた対応も伺いたい。また、子ども施策の一元化として、「こども課」設置の目的は何か。



市役所窓口

答一 第五次総合計画後期基本計画のスタート年を迎え、市政執行方針の重点を具現化する組織であり、市民満足度の向上と迅速で良質な行政サービスを提供する。

「市民が動かす、職員と情報を動かす」を基本としたワンストップサービスを目指す。安心して子どもを生み育てることができる環境づくりのため、子どもに関する施策を

教育の一環として教育委員会に一元化し、乳幼児から青少年まで一貫した子ども施策のメリットを活かしていく。

問二 地域おこし協力隊

協力隊が配置されて一年が経過したが、これまでの成果と今後の募集計画、業務内容を聞きたい。将来に向けて、留萌での就労と定住への意欲はあるか。

答一 地域おこし協力隊は、都市部から人材を募集し、これまで三人を配置、地域課題の解決を図るための活動を行っている。平成二十四年度は七人を委嘱予定。体験型ツーリズムの推進や一次産業をテーマとした交流人口の拡大に向けた業務の推進を検討する。就労や定住に向けての研修や資格取得のための支援を行う。

鵜城 雪子 議員
(萌芽クラブ)

問一 協働について

現在、町内会では市との協働という名の下、「クリーンステーションの管理・補修、清掃活動、公園のトイレの清掃・花植え、街路樹の美化活



塩見緑地帯トイレ

問二 沖見海浜公園一帯の整備について

新年度事業として、ゴールデンビーチ北側の便施設や監視棟、駐車場の整備など

既成の街並みを守ることを基本とした検討を行い決定していきたい。

天谷 孝行 議員
(留萌公明党)

問一 再生可能エネルギーについて

留萌・宗谷地域に自然エネルギーに関する研究会が発足この地域は再生可能エネルギーの潜在性が非常に高いと国会で評価・議論された。留萌は現在、十基の風力発電が稼働している。今後再生可能エネルギーに関する施策や展望があるのか伺いたい。



礼受に十基の風力発電が稼働

答一 津波ハザードマップは津波浸水予測図や土砂災害警戒区域、沿岸部緊急避難路、津波避難ビルなど、災害の基礎知識や対処方法などを掲載し一万六千部作成し、全世帯に配布。海抜表示板は津波発生時に高台への避難を普段から意識する情報として、沿岸部や市街地の海抜五m前後の電柱二百か所に設置する。

坂本 茂 議員
(共産党)

問一 地域経済の活性化について

経済波及効果の大きい「住宅改修促進助成事業」に、新たに新築や百万円以下の小規

坂本 守正 議員
(民主クラブ)

問一 留萌市の雇用創出計画の策定について

留萌市として雇用創出に向けた課題をどう捉えているのか。また、道の「雇用創出基本計画」では「地域労働関係会議」を設置し産業界、労働界、行政、関係団体と横断的な連携・協働を図るとなっており、道と連携し市独自の雇用創出計画を策定すべきだ。



(仮称)見晴通

答一 昨年十二月に沿線三町内会から要望書の提出もあり市民合意が出来たものとして判断し、平成二十四年度に都市計画変更の手続きを進める。道路区域の決定にあたっては

問二 介護保険について

介護保険料が四月から大幅に値上げされる。制度開始時に比べると百四十五・五%の値上げ。このうち、年間の年金が十八万円以下の「普通納付者」約千人の内百四十人強の人が、「保険料を納めたくても納められなくて」未納を続けている。未納が二年続くと介護利用料一割負担が三割になる。値上げは見直すべき。待機者が八十名を越す特別養護老人ホームの増設について伺いたい。

【答二】 介護保険は国の事業。保険料や利用料の軽減は国の責任です。特別養護老人ホーム増設については関係者と話している。



特別養護老人ホーム

菅原千鶴子 議員
(民主クラブ)

【問一】 子供たちの環境と今後の留萌市の方針について

留萌小学校の果たす役割は大きい。今回の新築を機にどのようなモデル校を作っていくのか、又、敷地の跡利用についてはどう考えているのか聞きたい。

フッ化洗口の取り組みを留萌小学校で行っているが、沖見小学校と統合される来年度のことを視野に入れ、賛否両論ある状況下で情報の提供が



留萌小学校

不足している。どのように対処するか聞きたい。
【答一】 留萌市の歴史ある小学校として、省エネはもちろん災害時の対応も万全な学校建設を目指したい。敷地については公共施設の今後について協議していく。またフッ化物洗口については、十分情報を提供し、説明して理解を得るようにしたい。

【問一】 幼児療育通園センターの今後について

建設されて三十九年と老朽化が際立っている。最初の利用者者は六名程度だったが、現在八十名を超えている状況で、地震などの災害を考えると早い時期に移転することが必要だと考える。建て替え移転について、また、放課後児童デイが平成二十四年度から始まる

るが、指導員の確保について伺いたい。
【答二】 老朽化についてはかねてから、懸案にしている。財政健全化計画の最中であり、移転の時期は決まっていないが、検討課題だ。制度改正の問題もあり人員の確保は必要だと認識している。

野崎 良夫 議員
(無所属)

【問一】 船場公園整備事業について

平成二十三年度までの十五年間に亘る総事業費は、十三億六千七百万円で進捗率は、七九%となり市民の関心が高まって来ている。

留萌港東岸や、副港周辺地域との連動した「親水空間づくり」の具体的なプランや「道の駅」を視野に入れた計画が考えられているのか、伺いたい。

【答一】 現在進行中の国道拡幅事業、留萌港活用計画との一体的で魅力ある交流拠点としたい。道の駅については、今後、庁内において協議しながら実現の可能性について検討したい。

川口 宏和 議員
(萌芽クラブ)

【問一】 留萌港の利活用について

留萌港の利活用に向け貨物の取り扱いだけでなく食などの資源を市外に発信する「地産外商」を進めていくべきであると考えているが今後の取組みについて聞きたい。

【答一】 留萌港の取扱貨物の増加を念頭に、事業者へのポータルサイトや情報収集に努めるほかさまざまな媒体を通して留萌の食や観光などの情報を発信し交流人口の増加による活性化に努め地域資源の市外への売り込みを図りたい。



上空から見た留萌港

【問一】 震災がれきの受け入れについて
北海道は東日本大震災による

【答二】 震災がれきの受け入れについては処分地での焼却が条件となるが留萌市には対応可能な焼却炉がない。そして地域からのゴミの多くは埋め立て処分している一方、市で保有する埋立処分場は平成二十四年度で満杯となる。被災地の状況は理解しているが現状の施設状況では受け入れは困難である。

対馬 真澄 議員
(萌芽クラブ)

【問一】 児童、生徒の学力向上について

全国学力調査の結果子ども達の学力向上が大きな課題となっている。北海道教育委員会では平成二十六年までに全国平均以上を目標としているが昨年の調査の結果を踏まえ、今後の取り組みについて

【問一】 市民の声を聞くシステムについて

また図書室ボランティアの様な学習ボランティアの配置は可能か伺いたい。

【答一】 学力調査の結果は、全道の平均の範囲で、結果を基に学校改善プランの策定、朝学習や放課後の補充的な学習家庭との連携で学習習慣の定着、チームティーチングの活用等、指導の充実に努める。

【答二】 市政懇談会、市民満足度調査など、参加人数、回収率と低い水準である。市民の意見が市政に反映されている実感に乏しいと感じられている現状、懇談会の開催場所、時間方法の見直し、また、調査の対象、設問等、改善する考えがあるか伺いたい。

【答一】 市政懇談会については様々な手法を活用、周知に努め多くの市民が参加しやすい様、関心が高いテーマの設定や開催日時、場所等の工夫をする。市民満足度調査については、子どもがいる家庭や高齢者など対象が限定される項目の設問は、的確な意見の把握の為に見直ししていく。

平成24年度 新規事業

歩いて楽しい商店街(四季の顔)事業

空き店舗の増加や消費者嗜好の変化などにより、活気が失われている商店街にかつての賑わいを取り戻すため、5つの商店街が一体感をもちつつ、それぞれの特色を出し、四季を通じて「行ってみたい」「歩いてみたい」商店街を創る。地域リスク介入研究推進事業

生活習慣病を背景とする糖尿病、脳卒中、認知症の増加に対し、早期検出による医療費、介護給付費の抑制と生活機能低下の未然防止を図る。健康コミュニティ創出支援モデル事業

健康コミュニティ創出支援事業
地域のリーダーとともに地域の健康を高めるための研修会の開催。
地域高齢者支援事業
地域の専門家、有識者、高齢者、支援者など様々な主体が「高齢社会」の健康課題を共有し、効果的予防方策についての研究、

実態調査、情報提供、事業企画、実践を通じて、地域で健康を支える仕組みづくりを構築する。コミュニティレストラン構築支援事業
「食と健康」の視点から、市民が健康を学び、集う場づくりや新たな担い手による目的別のコミュニティレストランをコーディネートする。

障がい者保健福祉計画策定事業
障がい者保健福祉計画策定に伴うアンケート調査(留萌市において登録されている身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者を対象)
地域懇談会の実施(6会場)

生活保護受給者就労支援事業
生活保護受給者からの求職相談への対応、求職情報の提供、公共職業安定所への同行などの就労支援や公共職業安定所など関係機関との連携・調整を図る。
低温倉庫等整備事業
低温倉庫(鉄骨造平屋3,331㎡) 附帯設備(フレコン設備) 収容量

(2,987t) 行政負担割合(水稻作付面積による比率)

留萌市	26.41382%
小平町	58.68400%
増毛町	14.90218%

戸別所得補償制度推進事業

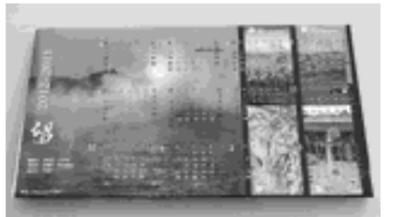
国の施策である戸別所得補償制度を円滑に推進するため、留萌市農業再生協議会に対し補助金の交付を行う。

水槽付消防ポンプ自動車整備事業(留萌消防組合負担金)

現在配置されている車両は、初年度登録から27年が経過し、老朽化が著しく各部品の修繕費が増大している。この状況では車両本体および艀装部分の機能障害が懸念され災害時の消防活動に支障を及ぼす恐れがあるため車両を更新する。

木製クリーンステーション製作事業
市内に855基のクリーンステーションを設置しているが、古いものは平成4年度設置であり、特に海岸地域においては腐食が激しく補

前の広場を整備する。
 海のふるさと館テラス整備
 駅前観光施設整備
 千望台休憩施設整備
 るもい地域再生加速事業
 三省堂書店広告活用宣伝
 ブックカバー及びしおり広告を
 活用し留萌地域の食など地域の
 魅力を発信する。
 客船寄港に伴う観光物産宣伝
 乗客に留萌に対する認識を深め
 てもらい、地場産品の販路拡大
 に繋がるよう、おもてなし事業
 を展開する。



ブックカバー

留萌観光・感動事業
 レトロ調バス運行
 児童や家族連れをターゲットに、
 お勝手屋「萌」発着のカズモちゃん
 をイメージキャラクターにした観光バス
 を運行する。
 留萌海岸花火大会
 沖見海浜公園において、6月下旬
 から8月中旬の毎週土曜日に
 打ち上げ花火を実施する。
 情報発信
 当該年度実施する観光のピック
 アップのほか、お土産情報や地
 場産品の紹介などを集約したパ
 ンフレットを作成しPRを図る。
 沖見海浜公園整備事業
 安心安全にかつ快適に利用でき
 る身近な海の創出のため、便益施
 設及び駐車場を整備する。
 浜中運動公園改修事業
 運動公園のソフトボール場及び
 野球場の内野インフィールドは硬
 化が著しく競技にも影響を与えて
 いるため、これを掘り起したうえ
 で不足土を補充し表層安定剤を混
 入し既存の土と一体化を図り、硬
 度の改善と芝生との段差を解消する。

り、各センターに必要な体制を整
 える。
 留萌小学校改築事業
 留萌小・沖見小の統合にあわせ
 留萌小学校の校舎・屋内体育館を
 全面改築する。
 (H24基本設計、実施設計)
 小中学校学習補助員配置事業
 小学校の新入学1年生及び中学
 1年生が学校生活に適應できない
 ケースの対応策として小学1年
 生・中学1年生が20人以上の小中
 学校5校に学習補助員(臨時職員)
 を配置する。
 小学校社会科副読本改訂事業
 地域学習において活用する社会
 科副読本「るもい」について、平
 成14年度発刊から9年が経過して
 おり時代に即した子どもたちの学
 習環境の整備はもとより、郷土
 「留萌」に対する理解と愛情を育
 てるため、全面改訂を行う。
 給食センター見学及び給食試食事
 業
 毎日、児童生徒が食べている給
 食を作っているセンターがどのよ
 うな施設かを広く市民に知って
 もらい、安心・安全でおいしい給食
 をPRする。
 食による観光施設活用推進事業
 夏期集中型観光からの脱却及び
 旭川圏域をターゲットとした新た
 な観光戦略の推進を図るため、泊
 食分離の考え方にに基づき、海の幸
 を中心とした留萌市ならではの食
 として「るもい浜焼き」を提供す
 る体制を確立することにより、留
 萌市民、旭川圏域の住民や観光客
 が1年を通して気軽に立ち寄れる
 環境を創出し、交流人口の拡大を
 図るとともに、留萌の食のPRに
 資する。
 観光施設整備事業
 観光客や市民が多く訪れる海の
 ふるさと館や千望台休憩施設の修
 繕及び備品の更新を図る。またお
 勝手屋「萌」の移転に合わせ、J
 R留萌駅からの観光客誘導や施設

修が困難なものが多いため、冬期
 間における雇用等の経済対策とし
 て整備する。



防災マップ作成事業
 津波による浸水、洪水による浸
 水、土砂災害危険区域、避難所、
 避難場所の表示、更に沿岸部の避
 難路、等高線などを加え、防災に
 関する基本的な注意事項等も加え
 た冊子式の総合的な防災マップを
 作成し、各家庭に配布する。
 海拔表示板設置事業
 市内沿岸部及び低地域にある北
 海道電力が所有する電柱200箇所
 の海拔調査をし、海拔表示看板を
 設置することにより、津波災害の
 避難の目安として活用され、安
 心・安全に寄与する。
 乳児家庭全戸訪問・養育支援訪問
 事業
 すべての乳児のいる家庭を訪問
 し、子育ての孤立化を防ぐために、
 その居宅において様々な不安や悩
 みを聞き、子育て支援に関する必
 要な情報提供を行うとともに、支
 援が必要な家庭
 に対しては適切なサービス提供
 に結びつけることにより、地域
 の中で子どもが
 健やかに育成で
 きる環境整備を
 図る。

障がい児養育支援事業
 発達遅滞児童や障がいのある児
 童が集団生活の環境下で過ごすこ
 とにより、良好な育成を促す。障
 がいのある児童が、すべての児童セ
 ンターを利用可能とするため、子
 育て支援団体等との委託契約によ

議会活性化推進特別委員会

議会の中間報告
 委員長 野崎 良夫

四月四日に、第七回目の特
 別委員会を開催し、次の事を
 確認して、精力的に審議を進
 めていくこととしました。

十分審議を尽くし、全員の
 合意形成を十分図るなど慎重
 に取扱います。
 改選期の半年前を目途に結
 論を出します。

当時は、市民及び市議会議
 員は、市議会をどう見ている
 のかと、自治体議員の役割の
 三つのテーマについて協議し、
 その後、定数、報酬などにつ
 いて取扱うこととします。

議会お知らせ掲示板
 留萌市議会は三月六日、留
 萌市内の公共施設など六カ所
 に「留萌市議会からのお知らせ」
 を掲示したコルクボード
 を設置し、市議会定例会の日
 程や一般質問の内容について
 掲示しています。今回の取り
 組みは、昨年九月に議員全員
 で設置した議会活性化推進特
 別委員会において、開かれた

議会として透明性の高い運営
 の一環で、今後につきまして
 は、閉会中の掲示板活用方法
 として常任委員会や特別委員
 会などの開催日程や協議結果、
 議会広報紙との連動も視野に、
 随時掲載していく予定です。



るもい健康の駅内掲示板

FM放送
 市議会の活性化策のひとつ
 として市民の皆さんに、議会
 をもっと身近なものとして
 知っていただくためにはどの
 ような手段が良いか長年の懸
 案でありました。

忙しくて傍聴にこられない
 方たちなどにもタイムリーに
 伝達できる方法を模索してい
 ましたが、幅広く知っていた
 だけ機会を作るために試験的
 に市内のFM局で、一般質問
 の様子を録音でお送りするこ

とになりました。

六月の本会議での一般質問
 の様子からお伝えすることに
 なります。たくさんの方たち
 から反響をいただけたら、と
 願っています。

傍聴席の椅子の取替え
 長年使用してきた傍聴席の
 椅子が新しくなりました。
 市民の皆さんにもっとゆっ
 くり時間をとって、ぜひ傍聴
 に来ていただきたいというこ
 とと、来ていただいても、座
 りづらく長い時間傍聴するの
 は今までの椅子では大変だろ
 うということで変わりました
 出欠について

議会活性化の取り組みの一
 貫として、本会議及び各委員
 会の全ての出席状況を公表す
 ることとしました。このこと
 により住民から信託された議
 員として、一年間の出席状況
 が広報るもいにおいて毎年一
 回掲載されます。今年の第一
 回定例会より一年間分を来年
 の広報るもい『議会です』こ
 んにちは』で公表すること
 となります。どのような方法で
 掲載していくかなど詳細はこ
 れからの広報特別委員会で決
 めていきます。

留萌消防組合議会報告

平成二十四年度留萌消防組合
 議会第一回定例会は、三月二
 十二日に開催されました。管
 理者である高橋市長から『留
 萌管内の消防広域化について』
 として北海道や国の指針
 に基づく検討内容の報告と、
 『消防車両の更新整備につい
 て』では、留萌と小平の消防
 署・支署の更新車両配備の行
 政報告があり、その後一般質
 問が行われ、野呂議員が緊急
 消防援助隊・庁舎整備・勤務
 条件・広域化等について、坂
 本茂議員が消防の広域化・庁
 舎の移転等の内容で答弁を求
 めました。

議案としては平成二十三年
 度補正予算・平成二十四年度
 予算・三本の条例改正、規約
 の承認を行いました。



留萌南部衛生組合議会報告

平成二十四年三月一日に留
 萌市、増毛町、小平町の衛生
 組合所属議員による、議会が
 開催されました。

平成二十三年度補正予算と
 平成二十四年度予算が可決さ
 れました。議会の中では、小
 平町の議員から質問があり、
 「小平町の生ごみ処理施設建
 設に伴う搬入道路整備などの
 工事と、現在のごみ処理場を
 使用しながらの搬入作業の円
 滑化について問題は無いか。」
 という質問と、「工事期間の間
 題として計画通りに完成する
 か。」という質問が出され、衛
 生組合側の答弁として、迂回
 路も計画しており、搬入の邪
 魔にならない作業をする予定
 であり、期間内の工事完成を
 目指すという答弁でした。

